

火災 二度と起すまい

東新町の失火に 反省座談会

一月八日未明、東新町に発生した火災は焼失家屋こそ少いが死者五名という稀にみる人的被害があり伊万里市未曾有の大火と言われている。尙正月早々然も出初式直後の出来事でもあり「火の元」点検が望ましい。

①強力な消防施設が欲しい
②未然防止が先決、消防団の「火の元」点検が望ましい
③消防訓練の徹底が必要
④人命救助の訓練が必要
⑤消防団の立場から
⑥出火の際自家だけでの防
⑦火は禁物、隣近所の急
⑧援を求め尚関係先の連絡
⑨を速かにすること
⑩浜町で実施中の「かまど
の修理方法は是非全町
実施して欲しい。
⑪消防としては義務に因る
責任を感じるが、市民に
も協力の責任をお願い
したい。
⑫子供の火事見物は教育者
父兄共極力抑制して欲
しい。
⑬川端附近では川沿いに避
けるべき。

伊万里町 山下 徳夫
現金 一〇、〇〇〇円
伊万里町 野口 鉄夫
現金 一〇、〇〇〇円
伊万里町 仲町 一同
現金 一〇、〇〇〇円
伊万里町 婦人会 一同
現金 一〇、〇〇〇円
伊万里町 税務署職員 一同
現金 二〇、〇〇〇円
伊万里町 野田 一男
現金 三、〇〇〇円
伊万里町 佛教会
現金 五、〇〇〇円
伊万里町 軒鶴会代表軒屋七鶴
現金 一、〇〇〇円
佐賀県庁商工課長本岡米雄
現金 一、〇〇〇円
高野山金剛派直門会実行一
同 現金 三、〇〇〇円

子供の挨拶

お母さん火の始末をしてお休みなさい

よる連絡、周知の不徹底並
施設、点検の不備から防火
処置の遅れたことは一般の
認めるところで甚だ遺憾事
であるが要はかかる災害の
未然防止が先決である。一
怪我とは我を怪しむと書く
信念のない行動が怪我の元
となる。一言「ポン、百
より用心」一に於けるよう
にお互いの注意心の喚起が
先づ第一であるが火の元の
点検を慎重にし、尙消防施
設の完備と訓練が必要とい
う結論に達した。

尙夫々の立場からの意見を
附記し参考に供したい。
一、一般市民としての要望
①警備の設置が是非望まし
い。
②連絡通報の確実な責任を
所を決め且一般に周知して
欲しい。
③消火栓の鍵の所在が一般
に判明していない。
④各地に防火用水槽が必要

よい子は表彰、クラブ活動にも助力

青少年を守れ!!と懸命の努
力を続けている伊万里市青
少年問題協議会では去る一
月十九日、定例委員会を開
き既定の指導目標の線に沿
い活動力点を左の通り決定
強力に推進することになつ
た。

一、協議会活動の有力な基
盤となる各町支部の助成
並青少年クラブ組織の育

二、純潔教育の徹底を図る
ため専門委員を設けて研
究指導を行う。
三、青少年の善行の伸張を
図るため表彰規程を設け
て年二回表彰する。
四、覚醒剤の被害を周知さ
せるために映画「覚醒剤
の恐怖」を市内各町に巡
回上映する。

伊万里町 吉原 善一
現金 五、〇〇〇円
東新町 川崎建設株式会社
現金 一〇、〇〇〇円
土井町 川本右五郎
現金 四、〇〇〇円

伊万里湾開発計画承認さる

飛躍的發展に期待

伊万里湾の総合開発計画 元代表として橋口市長、武は尙遠く困難なる問題が横
については既報(本紙第五 藤議会議長、中山建設局長 たわつて居る、市民のため
号掲載)の通り、日本港湾 等列席、先づ委員長の日本 まさる御協力を望みたい。
協会鈴木博士の实地調査に 港湾協会副会長鈴木博士か 尙、翌二十八日午後三時よ
依る計画立案を得、中央審 査ら挨拶があり、次で運輸省 り県及び伊万里市共催にて
議案に提出中のところ、去 中道計画課長から計画内容 丸の内ホテルに在京県人有
る一月二十七日午前十時よ の説明が行われたと、鍋 志(外務省顧問、田中鉄三
り東京虎の門、共済会館に 島知事地元側として計画実

於て開催された運輸省主催 現の必要性を述べ、立案中 郎氏他二十四名)を招き工
の中央港湾計画会議に於て 伊万里川と有田川との合流 場誘致懇談会を開催、遠大
殆んど原案通り承認可決、 点の流下土砂の処置につき 重点的審議を重ね、本計画
明三年度から実現の運び となつた。
に追加、原案は無修正のま 即ち本省側より委員三十名、採択となつたものである
が出席、県側よりは鍋島知 伊万里湾開発の大計画が樹 事を始め水瀬土木部長並地 立されたが之が完成への途 懇請した。

手数料

が改正になりました

- 一月一日から実施されています
- 一、土地、建物その他物件 一、資格、経歴に関する証 五十円
 - 一、租税、公課に関する証 一、印鑑登録 五十円
 - 一、営業、職業に関する証 一、印鑑に関する証明 五十円
 - 一、身元、身分に関する証 一、埋葬、火葬に関する証 五十円
 - 一、本籍、住所、居所に関 一、種とう、予防接種に関 五十円
 - する証明 五十円
 - 一、出生、死亡、死産、婚 一、納税管理人に関する証 五十円
 - 姻、相続に関する証明 五十円
 - 一、公簿、図面の閲覧 三十円
 - 一、公簿、図面の閲覧 三十円
 - 一、諸購入通帳の再交付 五十円
 - 一、住民登録法によるもの 三十円
 - 住民票の謄(抄)本 三十円
 - 住民票の閲覧 三十円
 - 戸籍附票の謄(抄)本 三十円
 - 戸籍附票の閲覧 三十円
 - その他の諸証明 五十円
 - 一、旅行証明書交付 二十円
 - 一、臨時運行許可申請 五十円

公民館分館が落成

東山代町川内野

分館が建設されたことはお
そらく県下に右に出るもの
はあまい。
「今日よりは明日へ」の希
望を新にして、部落民の幸
福を充たすために、親しま
れ、愛され、感謝される事
業より内容施設の充実した
分館活動に、今後の期待が
かけられる。

工事概況をみると、次
の通りである。
一、総工費 二百六十三万三千元
二、着工 昭和二十九年九月一日
三、竣工 昭和二十九年
十二月二十日
四、建坪 七二坪七合二勺
五、延坪 七二坪七合五勺

講堂 四〇坪
来賓室 六坪
会議室 六坪
炊事場 五坪
廊下 五坪
事務室 二室
二階物置 五坪

大川町 引揚者 藤本優子(四二才)

現行法規上では多くは望め
ないが国民多数の福祉政策
を受け入れ実行し得る政
候補者は政治力のある知識
人を選びたい。吾々の日常
生活に直接明確にひびく政
治をしてもらえば明るい公
明選挙も実行され、宣伝は
要らないことになりう。

農村青年の教育について

伊万里農林高校よりのお知らせ

今の農村の青年教育に
ツタくるものとして伊万
里農林高校の定時制がある
近頃は農業が非常に進歩し
て、農業も品種も肥料も澤
山店に出ているが非常にた
かい。うっかりすると農業
経営は赤字になる。併し要
領よく経営して反当一〇万
円位も稼いで居る人は沢山
あるのだから、損も得も頭
百姓には学問はいらないと
いうのは昔のこと、ノス
の誤りである。伊万里農林
高校定時制は自分の家で働
きながら四年たてて立派に
普通の高校と同じ卒業證書
が取れるし、農家のあと取
り息子又は娘として、学問
技術、体格、人格を身につ
けることが出来る。
出校日は一週間に一年は五

特別貯蓄運動展開

四兆回突破記念

今年こそ貯蓄で国の地かため
今般政府に於ては四兆円程の数字になるのです。
突破記念特別貯蓄運動を例えは
行うこととなり第一次を全国の各世帯で一年間に一
月二十日より二月十日 枚のシヤツを節約したら一
迄、第二次を三月一日よ 五二億円、木造小学校が
り同末日迄とし全国一斉 一七三出来ませす。
に強力に展開すること、全国の主婦が一日に十円節
なりました。県及び同貯蓄したら一
蓄推進連絡会でも「今年 全国世帯数は一、七五〇万にあり、要はお互いの心
こそ貯蓄で国の地かため
を」「本気で物とお金の
節約を」と呼びかけ一般 住宅が三五〇戸出来ませす。
の協力を望んでいます。 全国の配給米を受けているしよ。
一日に、一年に私達が人 が一週一回米食をやめて 尙右運動に伴い、生活改
んの少しづづのガマンを 粉食にしたら一
したとしたら(ケチ臭イ 年間外米節約三六ト、
ど、笑つてはいけません 代りに麦を輸入して外貨ので奮つて御参加下さる
日本中では一年に何と驚 を差引くと、一三七億のようお願ひ致します。

本気で物とお金の節約を